

校長挨拶

当校は平成25年4月1日に小学部、中学部、高等部を設置し、知的障害、肢体不自由、病弱を対象とする総合化された特別支援学校として開校しました。地域に支えられながら開校14年目を迎え、令和8年度は、新入学児童生徒19名が仲間に加わり、全校児童生徒52名（小学部17名、中学部14名、高等部21名）でスタートしました。

当校では、『地域社会で主体的に生活する力を育てる』の教育目標のもと、一人一人の障がいの状態や特性に応じた教育活動を通して、個々のもてる力を高め、生きる力を育てていくことを方針としています。その基盤となる学校づくりとして、「安心・安全な学校」、「主体性を育む学校」、「親しみのある学校」を目指したいと考えています。

安心して過ごすことのできる環境の中で、「やってみたい」と心が動き、試行錯誤を重ねながら、手応えを感じることができる、そのような学びの過程を支えていくことが、主体的な学びにつながり、生きる力を育むことにつながっていくと考えます。また、地域の中で様々な体験を積み重ね、人との関わりを通して学ぶ機会も大切にしていきます。

児童生徒のニーズに応じたきめ細やかな支援や指導ができるよう、全職員が心を一つに取り組んでまいります。保護者の皆様、地域の皆様には、これまでと同様に当校の教育活動に御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

下呂特別支援学校

校長 熊崎 礼子